

事業概要
2025年 3月期

株式会社ムーミン物語 第12期決算公告

埼玉県飯能市大字宮沢327番地6
株式会社ムーミン物語
代表取締役社長 小幡 匡志

【基本方針】

当社は「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖においてムーミンの物語の世界観を追体験できる「ムーミンバレーパーク」(MVP)を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業やお取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感のもとに、企業価値を高めてまいります。

【経営環境と事業取組】

当事業年度における日本経済を取り巻く環境は、世界的なインフレと円安による物価上昇、そして賃上げの動きが見られました。少子高齢化は加速し、労働力不足が深刻化し、国際情勢は不安定な中で、エネルギー・食料安全保障が課題となりました。一方で、インバウンド需要により、円安や水際対策の緩和が追い風となり、宿泊や娯楽サービス費を中心に日本経済に大きく貢献しました。

各レジャー施設が、プロモーションを競って計画・実施する中、2024年度のMVPは、「小さな幸せ、めいっぱい。」をキーワードとし、パークの魅力底上げと認知の再獲得を基本方針としました。キャラクター×自然・北欧等をかけ合わせた常設コンテンツの新規導入、リニューアルの継続的実行とシーズナルイベントのブラッシュアップを行いました。

春には「SPRING FESTIVAL」が開催され、パーク全体が鮮やかな花々で彩られました。夏には「こども応援キャンペーン」が開催され、新たなファミリー層にご来場を頂き、新規増設した「入江のテラス」では、「ムーミン谷でみずあそび」イベントなどで賑わいました。また、「ムーミンの日スペシャルウィーク」が開催され、ムーミン谷の湖上火大会やワークショップなどを開催しました。

冬には「WINTER WONDERLAND in MOOMINVALLEY PARK 2024」が開催され、幻想的なイルミネーションやオーロラの演出、キャラクターによるパレードなど冬ならではのスペシャルメニューや音声ガイドが登場し、昼夜異なる雰囲気を楽しむことができました。

これらのイベントプロモーションや設備投資と並行して、11月からのチケット価格改定や仕入れ見直しによる原価削減を進めた結果、当事業年度における業績は、来場者数357,066人(前年同期間は309,068人)、売上高 2,593百万円 (前年同期間は2,218百万円)、営業利益38百万円(前年同期間は営業損失368百万円)、経常損失6百万円(前年同期間は経常損失375百万円)、固定資産除却などの計上により当期純損失は352百万円(前年同期間は当期純利益292百万円)となりました。

また、2024年度は飯能市、西武鉄道株式会社、当社との地域活性化に向けた連携に関する基本協定を締結し、『ムーミンに会えるまち』のシティプロモーションにより、飯能市の交流人口、定住人口及び関係人口の増加による地域活性化に向け3者連携の取り組みを行いました。

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	649	流動負債	2,107
現金及び預金	293	買掛金	45
売掛金	115	短期借入金	366
商品	131	リース債務	150
原材料及び貯蔵品	25	未払金	1,382
前払費用	20	未払費用	12
未収入金	34	未払法人税等	5
その他	27	預り金	3
固定資産	5,416	賞与引当金	21
有形固定資産	4,078	その他	120
建物	22	固定負債	4,292
構築物	193	長期借入金	209
機械装置	10	リース債務	4,083
車両運搬具	0		
工具器具備品	88	負債合計	6,400
リース資産	3,761	(純資産の部)	
建設仮勘定	2	株主資本	△334
無形固定資産	0	資本金	50
ソフトウェア	0	資本剰余金	4,952
投資その他の資産	1,337	資本準備金	2,501
関係会社出資金	420	その他資本剰余金	2,451
関係会社長期貸付金	777	利益剰余金	△5,336
その他	139	その他利益剰余金	△5,336
		純資産合計	△334
資産合計	6,065	負債・純資産合計	6,065

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

科目	金額	
売上高		2,593
売上原価		1,929
売上総利益		664
販売費及び一般管理費		625
営業利益		38
営業外収益		
受取利息	12	
その他	3	15
営業外費用		
支払利息	32	
匿名組合損失	28	60
経常損失		△6
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別損失		
固定資産除却損	341	341
税引前当期純損失		△347
法人税、住民税及び事業税		5
当期純損失		△352

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 資産の評価基準及び評価方法
有価証券の評価基準及び評価方法
匿名組合出資金
匿名組合の出資時に「匿名組合出資金」を計上し、匿名組合が獲得した純損益の持分相当額については、営業外損益に計上するとともに同額を「匿名組合出資金」に加減する処理を行っております。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品
総平均法に基づく原価法によっております。
原材料
総平均法に基づく原価法によっております。
貯蔵品
最終仕入原価法に基づく原価法によっております。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産(リース資産を除く)
定率法を採用しております。
ただし、建物及び構築物については定額法によっております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物 7～35 年
構築物 10～20 年
機械装置 17 年
車両運搬具 2～3 年
工具器具備品 2～20 年

無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいて
おります。

リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の 5 ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

ステップ 1: 顧客との契約を識別する。

ステップ 2: 契約における履行義務を識別する。

ステップ 3: 取引価格を算定する。

ステップ 4: 契約における履行義務に取引価格を配分する。

ステップ 5: 履行義務を充足した時に又は充足につれて収益を認識する。

当社はテーマパーク事業を運営しており、顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は下記のとおりであります。

① 入場料売上

「ムーミンバレーパーク」に係る入場料売上については、テーマパーク内の施設の提供が履行義務であり、入場チケットの利用日に履行義務が充足されるものとして、一時点で収益を認識しております。

② 物販・飲食売上

「ムーミンバレーパーク」における物販・飲食売上については、顧客に商品を引き渡した時点で収益を認識しております。なお、物販売上のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識しております。

2. 表示方法の変更に関する注記

（損益計算書）

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「助成金収入」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末の発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 20,854 株

4. 収益認識に関する注記

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「1.重要な会計方針に係る事項に関する注記（5）収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

5. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。